



地区内の安全を祈る「御日待講」。安原では200年前から続く

五穀豊じょうを願う

安原地区で御日待講

安原地区で200年以上前(江戸時代後期)から続く、地区内の安全や健康、五穀豊じょうを祈る「御日待講」が1月18日、同地区内で行われました。毎年、世話役の当自宅で18日に行われ、今年は松本敏紀さんが会場。最近厄払いも兼ねていて、厄年を迎えた人や地区内の住民ら約20人が参加しました。

参加者は、宮司にお払いを受けた後、酒を交わしながら親睦を図りました。同地区では、過去の開催記録やその年の地区内の出来事などをつづった帳簿が残され続けていて、当時の歴史を見ることが出来ます。

自治会長の瀬田幸宏さんは「これからも地域の伝統を守り続け、親睦を深めていきたいです」と話していました。

まちの話題

あなたの町や地域、職場での話題をお寄せください。
投稿企画張紙裏まで (電話72-03332)



いっしょに手や体を動かす園児たち

楽しいリズムに乗って

根雨保育所ではなし会

エレクトーンのリズムカルな音に合わせ踊って歌う。米子市の劇団「えんどうまめ」のおはなし会が1月27日、根雨保育所で開かれました。

この日は、ネコの医者がいるいるな患者を診察する物語など、パネルに絵人形を貼りながら話を進める「パネルシアター」に園児たちは大喜び。元気な声でいっしょに歌ったり、手拍子をしながら楽しい話に聞き入っていました。



だれでも楽しめるスポーツ。子どもたちも気軽に挑戦

遊び感覚でスポーツを楽しむ

ニュースポーツ教室

楽しみながら適度に体を動かそうと、ニュースポーツ教室が1月22日、黒坂小学校体育館で開かれました。

スポンジボールのついた羽を打ち合う「ファミリーバドミントン」など、だれにでも気軽に楽しめる種目がたくさんあり、参加者は、町体育指導委員の指導のもと、さわやかな汗を流していました。教室は計4回開かれる予定になっています。



来観者1万人目の竹内淑子さん(左から2番目)



元気よくもちをつきあげる児童たち

収穫を祝いもちつき

根雨小もちつき大会

自然の恵みに感謝するとともに元気でいい年を過ごそうと1月17日、根雨小学校(青戸哲範校長)で、もちつき大会が開かれました。

全校児童145人が学年別に分かれ、60^{キロ}のもち米を保護者や地域の人などに協力してもらいながらつきあげました。できあがったもちは、ぜんざい、雑煮などにして昼に食べました。

同校では、校舎近くの水田5^{アール}でもち米を栽培し、昨年5月に苗を植え、9月に収穫。その内30^{キロ}のもち米は、町内の福祉施設にプレゼントしました。

オシドリ観察1万人突破

今シーズンもにぎわう観察小屋

まちに飛来するオシドリを見ようと、観察小屋(日野川・根雨)を訪れる来観者が2月7日、1万人を超えました。

記念の来観者は、竹内淑子さん(岡山県勝北町)でオシドリグループ(池岡幸三代表)から記念品が贈られました。竹内さんは、来観2度目で、何度見ても美しく感動的な鳥です。また見に来たいと思います」と話しました。オシドリは3月下旬には北帰行するため、観察期間も後1か月です。



大きな声を出しながら外に豆をまく園児たち



1手1手じっくり考えながら碁を指す参加者たち

碁盤を囲んで熱戦

新春囲碁大会

囲碁を通じて親睦を図ろうと1月30日、新春囲碁大会が開発センターで開かれました。

大会結果は次のとおり(敬称略)

- 【A組】優勝〃川上博久(江府町) 2位〃西村正満(下榎) 3位〃小谷三郎(下榎)
- 【B組】優勝〃生田正剛(下黒坂) 2位〃加藤泰利(根雨) 3位〃若林勲(根雨)
- 【C組】優勝〃富田徹(日南町) 2位〃中尾博(濁谷) 3位〃三輪勲一(江府町)

福の神を呼び込む

保育所で豆まき

2月3日「節分の日」に、根雨・黒坂保育所で恒例の豆まきがありました。

園児たちは、自分たちで作った色とりどりの鬼の面をかぶり、自分の中にいる「泣き虫鬼」「いじわる鬼」「わがまま鬼」などを追い出そうと、外に向かって元気な声で豆をまき、福の神を自分の中に呼び込んでいました。